

諦めなければ  
道は開ける

静岡ブルーレヴズ

日野 剛志 (33歳)

プレイヤーズナンバー 25/ポジション フッカー  
福岡県出身

©SHIZUOKA BlueRevs/Yuuri Tanimoto

今月は、静岡県全域をホストエリアとして活動するプロラグビーチーム、静岡ブルーレヴズの日野剛志選手にインタビューしました。

「ラグビーを始めたきっかけを教えてください」

幼稚園の友達のお父さんがコーチをしているラグビースクールに体験に行ったことがきっかけで、4歳から始めました。僕の地元は比較的ラグビーが盛んな地域で、当時からラグビーができる環境が整っていました。浜松を含め、県内でも10年前と比べると子供たちがラグビーを習うことができる環境が増えていると感じます。

「ラグビーの魅力と、試合での注目ポイントを教えてください」

チームのため、仲間のために体を張ってプレーするところが魅力です。体の大きな選手同士がぶつかり合うところはもちろん、小さな選手が勇氣を持って大きな選手に向かっていくところも見ていて面白いと思います。ラグビーはボールを前に投げてはいけないので、前に進みづらいスポーツですが、その分みんながボールをつないで、体をぶつけ合いながら得点を目指しています。基本的なルールだけ知っていれば十分楽しめますので、是非スタジアムでその迫力を感じてほしいです。

「浜松での印象的な出来事はありますか」  
チームとして取り組んでいるラグビーの普及活動で、初めて行ったのが村櫛小学校だったのを今でもよく覚えています。浜松ではどの学校に行っても子供たちが喜んでくれるので、僕たちもとても楽しいです。プライベートでは、以前浜松に住んでいたの、よく遠州灘でサーフィンをしたり、佐鳴湖に出掛けたりして楽しんでいました。

「夢をかなえるために大切なことは何だと思えますか」

自分自身の「将来こうなりたい」という気持ちに対して正直に向き合い、諦めずに夢を追いかけて続けることが大切だと思います。今思うようにいかななくても、諦めなければ花開くときが来ると思います。僕も学生時代は目立った選手ではなかったのですが、プロラグビー選手になることを諦めなくて良かったと今になって思います。

「シーズンの目標を教えてください」

リーグの上位4チームで優勝を争うので、まずは優勝が狙える4位以内に入ることが目標です。ここ数年は優勝争いから遠ざかってきましたが、いつも応援してくださる皆さんと優勝の喜びを分かち合いたいです。これからもぜひ応援をよろしくお願いします！

日野選手の横顔に迫る

「浜松のお気に入りスポーツは？」

遠州灘、中田島砂丘、佐鳴湖

「好きな食べ物は？」

肉、麺類

「休日の過ごし方は？」

コーヒを飲む



「ひのたけシート」日野選手が、小中学生と同行者をホストゲームに無料で招待しています。詳細はこちら▼



※ホストゲームの開催日によって募集期間が異なる場合があります。